

## 2024年3月19日(火)

併催シンポジウム | コラボレーション企画：ERATOニューロ分子技術：成果と展望

2024年3月19日(火) 9:00 ~ 11:40 壺 A1421(14号館 [2階] 1421)  
[A1421-2am] ERATOニューロ分子技術：成果と展望

9:00 ~ 11:40

[A1421-2am]

ERATOニューロ分子技術：成果と展望

併催シンポジウム | コラボレーション企画：メゾヒエラルキーの物質科学：メゾ領域で機能する材料創製に向けたアプローチ

2024年3月19日(火) 13:00 ~ 15:40 壺 A1421(14号館 [2階] 1421)  
[A1421-2pm] メゾヒエラルキーの物質科学：メゾ領域で機能する材料創製に向けたアプローチ

13:00 ~ 15:40

[A1421-2pm]

メゾヒエラルキーの物質科学：メゾ領域で機能する材料創製に向けたアプローチ

併催シンポジウム | 本会委員会主催シンポジウム：論説フォーラム「学術研究からイノベーションへ、大学発スタートアップとその挑戦」

2024年3月19日(火) 9:00 ~ 11:40 壺 G01(階段教室 大)  
[G01-2am] 論説フォーラム「学術研究からイノベーションへ、大学発スタートアップとその挑戦」

9:00 ~ 11:40

[G01-2am]

論説フォーラム「学術研究からイノベーションへ、大学発スタートアップとその挑戦」

併催シンポジウム | コラボレーション企画：ERATOニューロ分子技術：成果と展望

2024年3月19日(火) 9:00 ~ 11:40 会場 A1421(14号館 [2階] 1421)

**[A1421-2am] ERATOニューロ分子技術：成果と展望**

2018年秋から神経／脳科学へ貢献する化学の開拓を目指して、JST/ERATOニューロ分子技術プロジェクトがスタートし、最終年度を迎えようとしている。脳は高度な生命活動の中枢であり、またその破綻は認知症や精神疾患などの疾病に繋がるため、基礎サイエンスから応用まで、幅広い分野と繋がる重要な研究分野である。我々は、神経伝達の根幹を担う神経伝達物質受容体と呼ばれる膜タンパク質を中心標的として、可能な限り脳内の3次元ネットワークを維持したままでの、化学修飾やイメージング解析、制御・介入を可能とする分子技術の開拓に悪戦苦闘してきた。本企画では、脳内での受容体イメージングや制御、オミクス解析に資する分子技術の開発とその応用の現状を紹介し、未踏のフロンティアでもある脳神経系への化学的アプローチの将来に関しても、化学会の皆様と議論する場を提供させて頂きたい。

[プログラム](#)はこちら

9:00 ~ 11:40

[A1421-2am]

ERATOニューロ分子技術：成果と展望

併催シンポジウム | コラボレーション企画：メゾヒエラルキーの物質科学：メゾ領域で機能する材料創製に向けたアプローチ

📅 2024年3月19日(火) 13:00 ~ 15:40 📍 A1421(14号館 [2階] 1421)

## [A1421-2pm] メゾヒエラルキーの物質科学：メゾ領域で機能する材料創製に向けたアプローチ

学術変革領域研究A「メゾヒエラルキーの物質科学」（領域代表：矢貝史樹）が始動した。本領域では、メゾヒエラルキー領域で階層構造を持つ機能物質群（メゾヒエラルキー材料）を創製するための学理構築・新機能開拓を目指している。しかし、世界的に見てもメゾヒエラルキー材料をどのように構築するかに関する方法論は確立されておらず、その特異な構造を利用した新規機能開拓はほとんど行われていない。そこで本企画では、まず、メゾヒエラルキー物質とは何かを紹介する。次に、化学・物理・計測・理論など、様々な背景を持つ研究者が、「メゾヒエラルキー物質の学理構築・新機能開拓」に向けてどのようなアプローチを採っているのか、その一端を紹介する。

[プログラム](#)はこちら

13:00 ~ 15:40

[A1421-2pm]

メゾヒエラルキーの物質科学：メゾ領域で機能する材料創製に向けたアプローチ

併催シンポジウム | 本会委員会主催シンポジウム：論説フォーラム「学術研究からイノベーションへ、大学発スタートアップとその挑戦」

🕒 2024年3月19日(火) 9:00 ~ 11:40 🏠 G01(階段教室 大)

## [G01-2am] 論説フォーラム「学術研究からイノベーションへ、大学発スタートアップとその挑戦」

第104春季年会において論説フォーラムを開催いたします。

2005年から化工誌に「論説」が創設されて以来、これまで200篇余に及ぶ論説で「人材育成」「科学思想」「政策提言」「化学産業競争力」「大学・研究機関の体制」「科学と社会」「国際化」と様々なテーマで議論を繰り広げてきました。今回の論説フォーラムでは2023年化工誌「論説」で特に盛り上がったテーマから「起業」をピックアップし、「学術研究からイノベーションへ、大学発スタートアップとその挑戦」と銘打ち、講演者の方々から個々の経験を基に20分間程度ご講演いただき、徹底討論いたします。学生会員を含め、多数のご来場とご意見を歓迎いたします。

[プログラム](#)はこちら

9:00 ~ 11:40

[G01-2am]

論説フォーラム「学術研究からイノベーションへ、大学発スタートアップとその挑戦」